



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 神鋼商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 8075 URL <https://www.shinsho.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高下 拡張
問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡 洋平 (TEL) 03-5579-5201
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	147,677	△3.1	2,224	△39.7	2,938	△17.9	1,982	△32.6
2025年3月期第1四半期	152,343	11.5	3,686	47.0	3,578	66.7	2,939	115.9

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,294百万円(△60.0%) 2025年3月期第1四半期 3,237百万円(△11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	75.03	—
2025年3月期第1四半期	111.35	—

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	374,902	92,945	24.4
2025年3月期	386,870	92,977	23.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 91,491百万円 2025年3月期 91,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	150.00	—	150.00	300.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	53.00	—	53.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期(予想)については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の年間配当金は、318円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	304,000	△0.9	4,700	△33.1	5,300	△13.2	4,300	△5.9	162.00
通期	637,000	3.2	11,900	△10.0	12,000	2.0	9,200	7.4	348.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	26,581,686株	2025年3月期	26,581,686株
2026年3月期1Q	162,813株	2025年3月期	165,063株
2026年3月期1Q	26,416,718株	2025年3月期1Q	26,401,894株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式 (2026年3月期1Q 139,355株、2025年3月期末 141,642株) が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式の計算において控除する自己株式に含めております (2026年3月期1Q 141,516株、2025年3月期1Q 156,367株)。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)における世界経済は、地政学的不安定さが長期化するなか、米国の通商政策の影響、物価や人件費の上昇、米国での高い金利水準の継続、中国経済の停滞の長期化など景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられるものの、企業収益においては、通商問題が及ぼす影響等に依然として留意する必要があります。

このような環境下において、当社グループは中期経営計画2026(2024年度～2026年度)を達成すべく、成長戦略を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は1,476億77百万円(前年同四半期比3.1%減)、営業利益は22億24百万円(同39.7%減)、経常利益は29億38百万円(同17.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億82百万円(同32.6%減)となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりです。

①金属セグメント

i) 鉄鋼ユニット

主力である特殊鋼・鋼板製品については、国内の自動車生産台数および建築向け分野で需要が減少したものの、売上高は横ばいとなり、営業外収益が増加したことにより、全体では増益となりました。

これらにより、鉄鋼ユニットの売上高は637億26百万円(前年同四半期比1.0%増)となり、利益は15億98百万円(同9.8%増)となりました。

ii) アルミ・銅ユニット

銅製品は端子コネクタの取扱量増加も、空調銅管の取扱量が減少しました。アルミ製品は自動車向け取扱量が減少し、非鉄原料は地金アルミの取扱量増加も、再生塊アルミの取扱量が減少しました。

これらにより、アルミ・銅ユニットの売上高は439億37百万円(前年同四半期比7.8%減)となり、利益は6億73百万円(同37.2%減)となりました。

iii) 原料ユニット

(株)神戸製鋼所向け主原料については、粗鋼生産量が低調に推移したことから取扱量は減少し、価格も下落しました。重点分野である資源循環ビジネスについては、海外の鉄スクラップ需要が堅調であり、輸出取扱量は増加しました。一方で、海外投資先の操業停止やバイオマス発電所の操業再開の遅れが影響したほか、前年度に計上された一過性の利益が剥落したこともあり、ユニット全体では減益となりました。

これらにより、原料ユニットの売上高は194億13百万円(前年同四半期比6.6%減)となり、利益は1億14百万円(同83.1%減)となりました。

②機械・溶接セグメント

i) 機械ユニット

国内では電池材料の取扱量が増加、非汎用圧縮機やゴムタイヤ機械等の本体納入が増加し売上高・利益とも堅調に推移しました。マツボーでは電気溶解炉の取扱いが増加、海外では中国での建機部品輸出が増加しました。

これらにより、機械ユニットの売上高は140億70百万円(前年同四半期比5.1%増)となり、利益は5億42百万円(同131.2%増)となりました。

ii) 溶接ユニット

溶接材料は国内の販売単価は総じて上昇しましたが、海外は下落しました。溶接材料および溶接関連機材の取扱量が国内外ともに減少し、更に生産材料ではワイヤーの材料となる鋼材の取扱量が減少しました。

これらにより、溶接ユニットの売上高は64億90百万円(前年同四半期比11.7%減)となり、利益は84百万円(同47.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,749億2百万円となり、前連結会計年度末比119億68百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,819億56百万円となり、前連結会計年度末比119億37百万円減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少と契約負債の増加によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は929億45百万円となり、前連結会計年度末比31百万円の減少となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少とその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期並びに通期の業績予想及び配当予想につきましては、2025年5月8日公表時より変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,381	17,019
受取手形及び売掛金	189,458	185,594
電子記録債権	18,022	23,540
商品及び製品	74,841	71,426
仕掛品	140	70
原材料及び貯蔵品	1,635	1,316
前払金	21,984	16,903
その他	10,382	8,948
貸倒引当金	△306	△292
流動資産合計	337,539	324,528
固定資産		
有形固定資産	8,646	8,128
無形固定資産	2,025	1,961
投資その他の資産		
投資有価証券	32,574	33,824
出資金	1,863	1,813
長期貸付金	2,068	2,722
退職給付に係る資産	20	19
繰延税金資産	1,919	1,735
その他	4,629	4,396
貸倒引当金	△4,416	△4,229
投資その他の資産合計	38,659	40,283
固定資産合計	49,331	50,373
資産合計	386,870	374,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,239	156,497
電子記録債務	13,400	12,968
短期借入金	45,905	44,921
未払法人税等	1,864	729
契約負債	12,385	13,729
賞与引当金	1,582	908
預り金	18,432	13,610
その他	19,389	16,668
流動負債合計	272,200	260,033
固定負債		
長期借入金	15,350	14,950
預り保証金	732	729
繰延税金負債	3,978	4,574
役員株式給付引当金	88	96
退職給付に係る負債	970	961
その他	572	611
固定負債合計	21,692	21,923
負債合計	293,893	281,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,615	2,615
利益剰余金	69,165	69,819
自己株式	△220	△217
株主資本合計	77,210	77,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,017	8,081
繰延ヘッジ損益	67	53
為替換算調整勘定	7,141	5,489
その他の包括利益累計額合計	14,226	13,624
非支配株主持分	1,539	1,453
純資産合計	92,977	92,945
負債純資産合計	386,870	374,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	152,343	147,677
売上原価	141,908	138,692
売上総利益	10,434	8,985
販売費及び一般管理費	6,748	6,760
営業利益	3,686	2,224
営業外収益		
受取利息	50	61
受取配当金	789	1,178
持分法による投資利益	-	37
為替差益	64	55
雑収入	118	115
営業外収益合計	1,023	1,448
営業外費用		
支払利息	476	413
売掛債権譲渡損	118	169
持分法による投資損失	74	-
デリバティブ評価損	229	123
雑損失	232	28
営業外費用合計	1,131	734
経常利益	3,578	2,938
特別利益		
投資有価証券売却益	670	-
負ののれん発生益	179	-
特別利益合計	849	-
税金等調整前四半期純利益	4,427	2,938
法人税、住民税及び事業税	1,159	717
法人税等調整額	326	223
法人税等合計	1,485	941
四半期純利益	2,942	1,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,939	1,982

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,942	1,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△739	1,109
繰延ヘッジ損益	120	△14
為替換算調整勘定	827	△1,440
持分法適用会社に対する持分相当額	86	△358
その他の包括利益合計	295	△703
四半期包括利益	3,237	1,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,474	1,379
非支配株主に係る四半期包括利益	△236	△85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。一部の関係会社においては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	63, 115	47, 661	20, 786	131, 563	13, 384	7, 350	20, 735	152, 299	44	－	152, 343
セグメント間の 内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	85	△85	－
計	63, 115	47, 661	20, 786	131, 563	13, 384	7, 350	20, 735	152, 299	129	△85	152, 343
セグメント利益 又は損失(△)	1, 455	1, 072	676	3, 204	234	161	396	3, 601	△23	－	3, 578

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属				機械・溶接			計			
	鉄鋼	アルミ・ 銅	原料	小計	機械	溶接	小計				
売上高											
外部顧客への売上高	63,726	43,937	19,413	127,077	14,070	6,490	20,561	147,638	39	－	147,677
セグメント間の 内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－	90	△90	－
計	63,726	43,937	19,413	127,077	14,070	6,490	20,561	147,638	129	△90	147,677
セグメント利益 又は損失(△)	1,598	673	114	2,386	542	84	627	3,013	△75	－	2,938

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	389百万円	363百万円
のれんの償却額	22百万円	22百万円